君津市地域おこし協力隊活動報告

隊員名：深山 雅弘
指名日：令和４年 11 月 10 日

活動月	令和５年　７月
主な活動内容	**1．地域活性化ソーシャル起業プロジェクト開始** **2．第２回 空き家活用セミナーを開催しました**

１．地域活性化ソーシャル起業プロジェクト開始

君津市清和地区における地域資源や地域の課題、日常の暮らしなどを基に、清和地区でソーシャルビジネス起業や地域づくり活動を生み出す取り組みである『実感の循環学校』の記念すべき第 1 回が開催されました。本イベントは、清和地区での活動を評価され、市から全面的に委託を受けた「コミュニティ清和」が運営するものです。

平日の夜という決して好条件ではないですが、オンライン参加も含めて約 50 人の参加者にお集まりいただきました。ゲスト講師の雑誌「ソトコト」編集長でありソーシャルビジネスの第一人者である指出一正さんの講義は、自らの知識・経験・実績から繰り出される言葉は重く、説得力があり刺激を受けました。

2 部では石井宏子君津市長や会場参加者を交えたクロストークセッションと懇親会で熱い意見交換。この濃い内容がわずか 50 人足らずでしか共有できなかったのはもったいない。事前に Web 聴講枠があることの宣伝にチカラを入れればよかったと今となって反省しています。

これから半年の間、空き家や獣害など地域課題に関するプログラムが引き続き予定されています。来年の 1 月には旧秋元小学校の複合施設がオープン。そのなかにはレンタルオフィスやコワーキングスペースもはいります。この循環学校で生まれた新しい取り組みが、この施設で起業されるんだなと今から楽しみです。

清和の暮らしとシゴトづくり実践事業 – 実感の循環学校
https://seiwa-town.com/kurashitoshigoto/

未来をつくる SDG's マガジン – ソトコト
https://sotokoto-online.jp/

2. 第 2 回 空き家活用セミナーを開催しました。

第 2 回 君津市空き家活用セミナーを開催しました。今年 3 月に開催した最初のセミナーでは、個別相談を希望されていた皆さまにその場で十分な対応ができなかったことを反省し、今回は参加人数を絞り、対面でしっかり向き合う『相談会形式』で開催しました。

君津市建築課 空き家バンク担当より「君津市空き家バンク制度」について、株式会社 新昭和リビンズ様より「空き家の管理の重要性」について、そして私からは来年 4 月に施行される相続登記の義務化と法定相続情報証明や自筆証明遺言書保管といった、知っておきたい制度についてお話しし、それぞれの相談内容により 4 人の担当者に振り分け個別相談を実施しました。

踏み込んだ相談内容まで聞けたので、その場である程度の道筋を提案でき、物件を拝見させていただく日程決めや空き家管理サービスの紹介など、具体的な解決策の提案に進めたのは成果あったんじゃないかと思います。

セミナーの時にもお話ししましたが、残念ながら空き家バンクは空き家問題を解決する万能薬ではないのです。たしかに空き家バンクに載せればたくさんの人の眼にふれ、買い手がつくでしょう。しかし、空き家バンクに登録させるには一定の条件を満たす必要があります。この条件を満たせずに断念せざるを得ない物件が多いんです。そういう物件は一般の不動産ルートでは取り扱いが難しく、オーナーさんはあきらめてしまっている。ここに空き家問題の根本的な原因があるんじゃないかと思います。

そして、市街地（住宅密集地）と田舎（過疎地）では環境による傾向が異なります。このあたりは次回セミナーでお話しできればと考えています。

第２回 君津市空き家活用セミナー – 話せる、学べる、空き家のお悩み相談会
https://movetokimitsu.jp/seminar_20230729/

地域おこし
君津市
協力隊